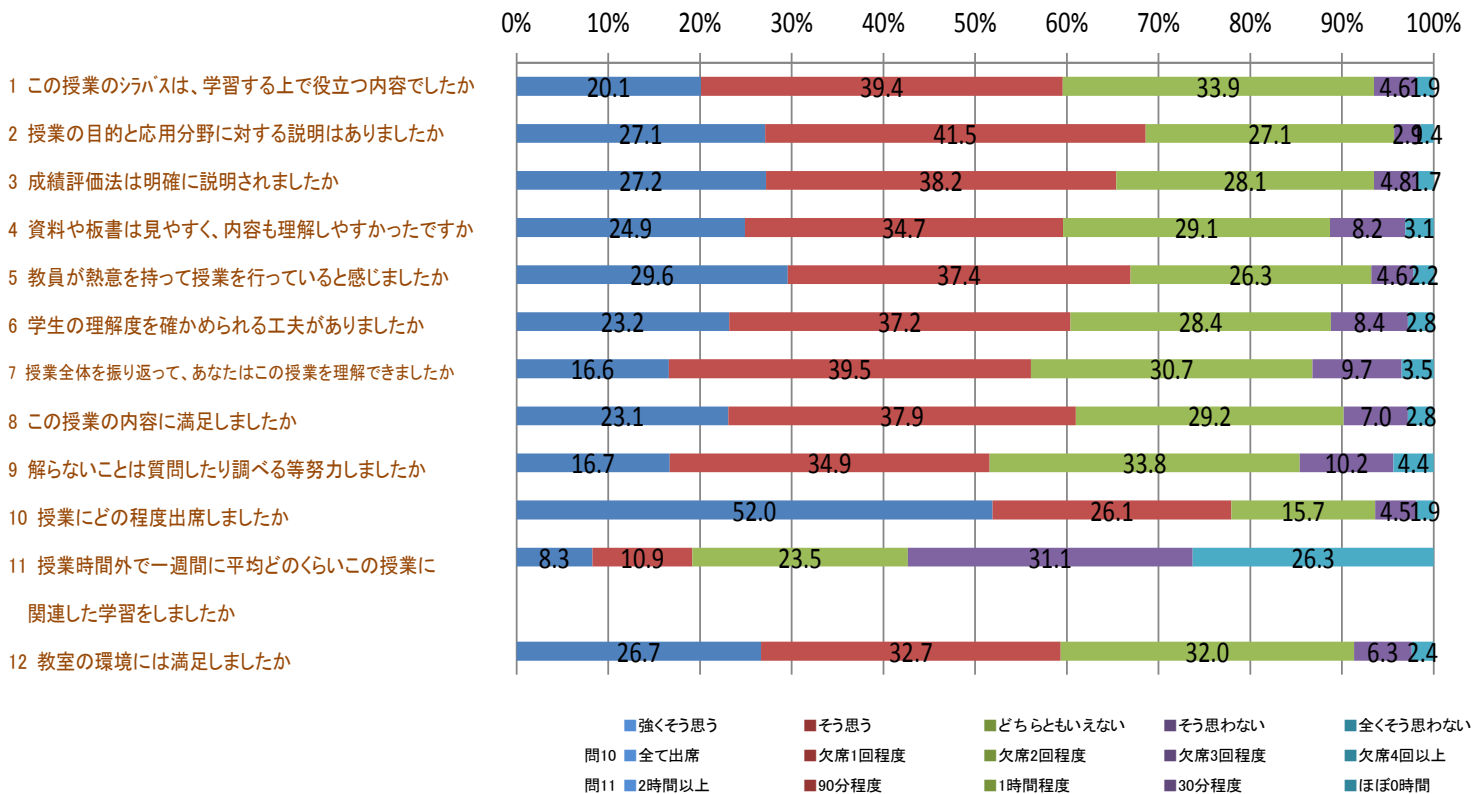


2016 年度後期 授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 14

《学生の皆さんへ》システムデザイン学部・研究科では2017年1月6日～2月6日の期間、学部と研究科で前期に開講された講義科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。ご協力大変ありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部(対象授業科目数 83 のうち 65 科目からの回答)



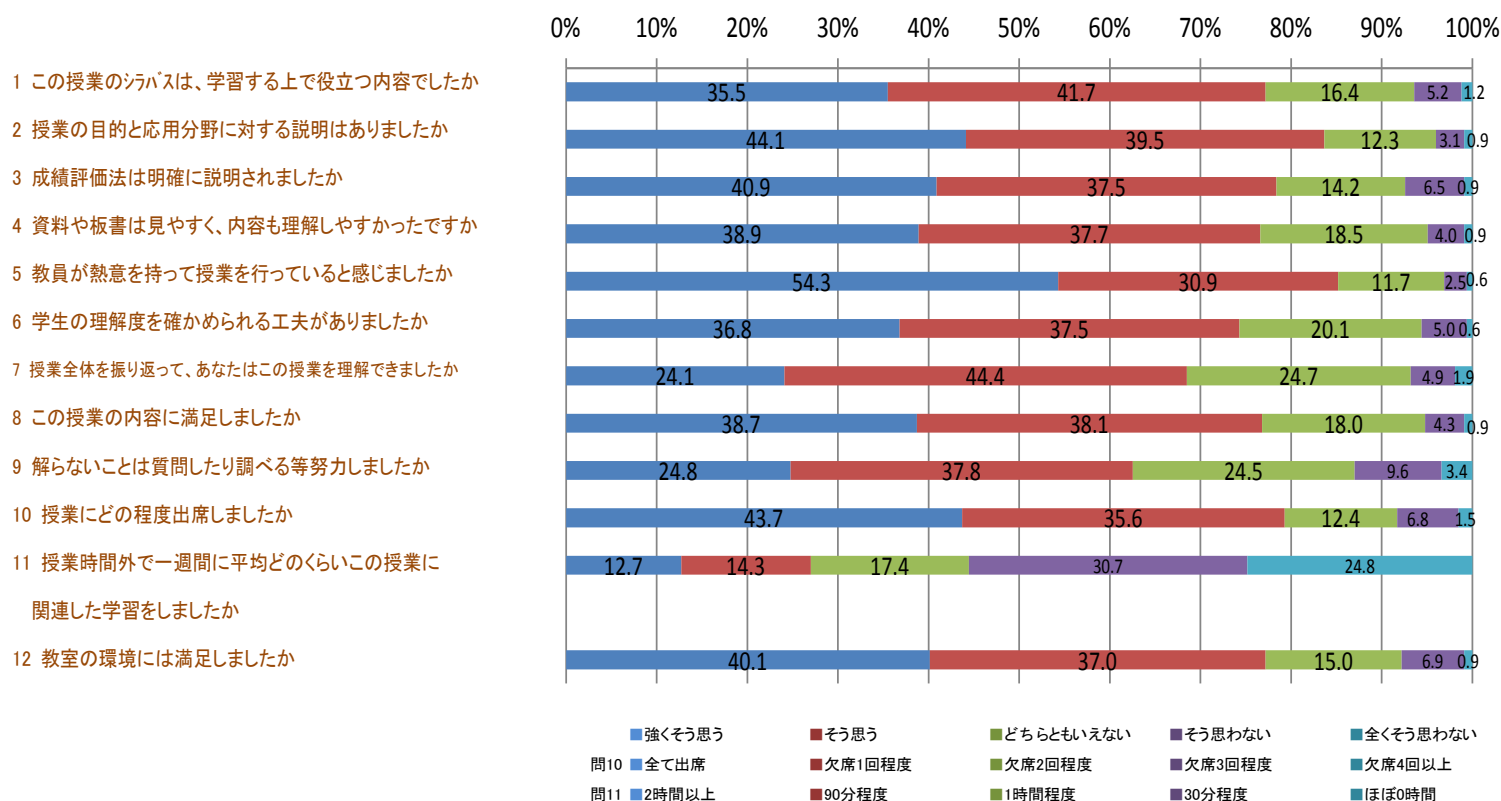
▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・スライドだけでなく、実物を見せてくれたのはよかった。印象に残るし、仕組みも理解しやすい。
- ・講義 60 分、演習 30 分の授業スタイルは他に取入れるべきだと思います。
- ・コメントカードをつかって挙手回数をとったり、質問を次の授業で解説してくれるのがよかった。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・授業中に学生自身で回路を組み、動作を確認するようにした。また宿題として、自宅で取り組める演習課題を与えた。
- ・前提となる科目を受講していない学生が多い。基礎事項の解説に時間を費やした。
- ・学生たちが意欲を持って取り組む姿勢を期待して、方向づけをしていきたい。

システムデザイン研究科(対象授業科目数 45 のうち 35 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・実践的なプレゼン練習ができ、且つ話題のディーププランニングの理解が深まった。
- ・制作の進捗状況を発表する機会があるとプロセスが見えて良いと思います。
- ・印刷されたスライドの文字がつぶれて読めないことがあったので、電子的な配布もしてほしい。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・図やビデオ、小道具を使って理解を深めるよう努めた。
- ・学生の学習意欲向上、研究へ取組みに関する方法論習得のため、関連分野の技術動向、特許などを調査し、結果をまとめて、プレゼンすることを実施している。
- ・学生からの理解度等の発信方法を考える。(ミニテストの解答のプレゼンなど)

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2016 年度後期「授業改善アンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果のうち、各設問ごとの回答からは全体の傾向が、自由記述欄のコメントからは多彩な授業の様子が浮かび上がってきます。みなさんから寄せられたアンケートは、回答者個人を特定することなく集計された後、コメントは無記名で教員にフィードバックされます。学生の声を教員に、双方がより良い授業を実現していくために、今後も教職員一同いっそうFD活動に取り組んでいきます。どんな小さいことでも構いません。気付いたことがありましたら、ぜひみなさんの声を聞かせてください。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2017 年 6 月 15 日